



真鍋っ子

学校通信 No. 1
令和3年4月発行
真鍋小学校 校長室
令和3年4月7日

新学期のスタート

令和3年度がスタートしました。本年度も地域に開かれ、地域から支えられ、地域とともにある真鍋小学校をめざして、全教職員で力を合わせ、子どもたちの心身の健やかな発育のため尽くしていきたいと思っております。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度教職員紹介

地域・家庭配付用には
掲載しています。



始業式講話

今日から新学年・新学期が始まります。皆さん、進級おめでとうございます。

6年生になった皆さんにとって、真鍋小学校での生活の締めくくりの1年です。

1年は、365日ありますが、休日を除いて、皆さんが、卒業までに、真鍋小学校に登校する日は、201日です。

「光陰（こういん）矢のごとし」ということわざがあります。「光陰（こういん）」は時間や月日を表す言葉です。つまり、「光陰（こういん）矢のごとし」とは、時間や月日は、弓から放（はな）たれた矢のようにはやく過ぎてしまうという意味です。そして、一度放（はな）たれた矢は戻ってくることはありません。過ぎ去った時間も戻ってくることはありません。

目標を決めて、達成に向けて頑張っている人も、目標をもたず、なんとなく毎日を過ごしている人も過ぎていく時間は同じです。

過ごした時間は同じでも、目標を決めて頑張った人は、なんとなく毎日を過ごした人よりたくさん成長します。

さて、皆さんは、201日という限られた時間をどのように過ごしますか。

真鍋小学校にも、目標があります。学校教育目標といいます。それは、「自ら学び、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」です。わかりやすく言うと

- ・かしこい子ども（目標をもち、自分の考えを表現できる子ども）
- ・やさしい子ども（思いやりをもち、みんなと助け合う子ども）
- ・たくましい子ども（困難にくじけず、最後までがんばる子ども）

です。

これが、皆さんと先生たちの共通の目標、つまりゴールです。時間を大切にして、201日後には、このゴールに到着しているように一緒に頑張りましょう。

